

農業

農薬の適正使用について

農産物生産者が農薬を厳しく管理するのはもちろんですが、家庭菜園でも農薬の使用には注意が必要です。

◎ラベルの内容をよく確認

農薬容器のラベルには、その農薬を効果的かつ安全に使うために必要な事項が記載されています。ラベルに記載されている適用作物、使用量、使用濃度、使用時期、使用回数および注意事項を厳守して使用しましょう。

◎農薬の使用状況を記録

農薬の使用履歴を残すことは、その成果を見る際に役立つとともに、農薬を安全かつ適正に使用した証明になります。使用履歴を正確に記録し保管しましょう。

◎近隣作物への飛散に注意

農薬散布時は、風速や風向き、風下方向にある農作物を確認し、近隣作物へ農薬が飛散しないようにしましょう。

◎散布機などは十分に洗浄を

農薬の洗い残しがあると、次に使用する作物に登録のない農薬を散布してしまう恐れがあります。散布機を複数品目で共用する場合は、十分に洗浄して使用しましょう。

◎農薬を適正に保管

農薬は安全な場所に鍵をかけて保管し、盗難、紛失の防止に努めましょう。また、容器の移替えは絶対に行わないでください。

▼問

産業課 農林グループ
☎ 62-2112
FAX 62-3300

暮らし

吹付けアスベスト等含有調査補助事業

健康被害を防止し生活環境の保全を図るため、吹付けアスベスト等の含有調査を行う方に補助をしています。

▼対象建築物

昭和31年から平成元年までに施工された民間建築物のうち、吹付けアスベスト等が施工されているおそれがある次のいずれかに該当するもの。

- ① 延べ面積1,000㎡以上
- ② 不特定多数の方が利用する建物で、延べ面積300㎡以上

▼補助額

吹付けアスベスト等含有調査に係る費用

※限度額は1棟につき25万円

▼募集期間

9月20日(金)まで
※実施予定件数に達した時点で本年度の申込受付終了。

▼申込・問

建設課 建築グループ
☎ 62-2113
FAX 62-3300

図書館の古本を差し上げます

図書館で利用していた図書のうち古くなったものについて、希望者に無料で差し上げます。(冊数制限なし)

対象本は、書庫に保管していた一般書(歴史・伝記類や芸術・スポーツ系、エッセイ・ルポ)、小学生向けの児童書(知識もの・読み物)などです。廃棄予定資料のリストは図書館内で公表しています。

▼期間

7月23日(火)～31日(水)
午前10時～午後6時
※29日(休館日)を除く

▼場所

町民図書館
貸出カウンター前

▼問

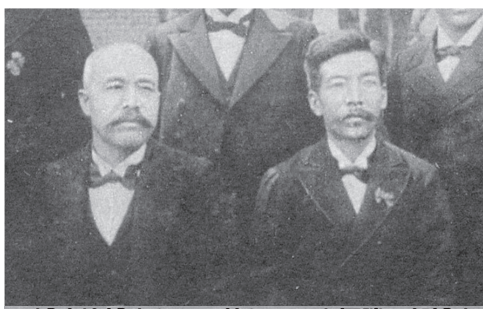
町民図書館
☎ 62-3375
FAX 61-1026

歴民コラム

三浦守治と北里柴三郎

新千円札の「顔」は、北里柴三郎との発表がありました。北里は、三春出身の医学者・三浦守治とも縁があります。三浦守治(医学博士・歌人1857～1916)は、森鷗外らとともに東京大学医学部に学び、最初に病理学教室を開設した人です。

明治政府は、才能ある学生をドイツへ留学させました。森は衛生学、北里は細菌学、そして三浦は病理学を学び、森によれば、ドイツの下宿先で、三浦や北里らと論じ合うこともあったようです。この時には、後の脚気論争など思いもよらないことでした。



三浦守治博士とその教え子の山極勝三郎博士

当時、脚気(ビタミンB1の欠乏症)は死に至る病でした。森の先輩である緒方正規は、脚気菌の発見を発表しますが、北里は、それが誤りであることを証明します。一方森は、海軍の高木兼寛による脚気は栄養の問題という説と、高木が提唱する軍への麦飯の導入を激しく非難します。日清・日露戦争で、脚気による軍隊内部での病死者が問題になると、三浦も調査を命じられ、彼は麦飯には効果があると結論付けるのです。

また明治27年、三浦は八重山諸島の風土病はマラリアであると調査報告を行います。これにより、高熱で苦しむ人々に、特効薬であるキニーネの処方が可能になります。マラリアがハマダラ蚊によって媒介されることは1898年に証明されますが、その翌年、北里と三浦との指導により、伝染経路の特定・予防法の提言などが行われ、マラリア根絶の道が開かれたのです。

▼問

歴史民俗資料館
☎ 62-5263
FAX 62-6953